



Be creative !

IKaW・AKo-フィリピンの人と共に歩む



8月9日から21日までの約2週間、4年ぶりに再開したフィリピンスタディツアーは、姉妹校シラインスティテュート校の先生

方、ホストファミリーの皆さんに支えられ、素晴らしい体験と

交流をすることができました。その様子は本校のホームページのブログを覗いただけるとよくわかります。今月の「校長室だより」では、バラエティに富んだプログラムの中から、特に、パダック村でのマングローブ及びカカオの植樹の活動、合わせてマングローブフェスティバルに参加したことを中心に皆さんにその活動を報告します。



1. NPO法人「イカオ・アコ」の皆さんとの再会

思い起こせば、私たちとフィリピンとの出会いのきっかけを作ってくれた団体がこの「イカオ・アコ」であり、その団体の代表として活動をされていた日本福祉大学経済学部の教授であられた後藤順久（よりひさ）先生でした。現在のカリキュラムにある「GFS」の前身ともいえる「福祉社会入門」という科目の中で、後藤先生がフィリピンでのマングローブ植林をはじめとする支援活動を語ってくださったことが生徒の心を掴み、本校の生徒の中にも、その活動に協力をしていこうという動きが生まれてきました。2016年、初めてのフィリピンスタディツアーはこの「イカオ・アコ」への訪問から始まります。今回のスタディツアーでは久しぶりに後藤先生に再会することができ、イカオ・アコがパダック村の中心となって主催するフェスティバルや植林の活動に参加させてもらうとともに、第二次世界大戦におけるフィリピンに残る日本の戦跡の案内や説明を後藤先生にさせていただくことができました。



2. フィリピンの人と共に歩む一元日本軍土居潤一郎氏の遺志を受け継ぐ

この「イカオ・アコ」の活動の出発点は何か。それは第二次世界大戦中、日本軍の通信部隊の小隊長としてネグロス島に駐在していた土居潤一郎さんという方の呼びかけがきっかけだったとのこと。戦後、日本に帰国した土居さんは、1960年にネグロスを再び訪問。フィリピンに取り残された日本人や日系2世3世の方たちの困窮した生活を目の当たりにし、「なんとか力になりたい」と私財を投じて支援に当たられました。土居さんは日系人だけに留まらず、「戦時中、フィリピンの方たちに変な迷惑をかけた」と、現地の地域への支援を積極的に行われたそうです。



このパダック村には、日本の鳥居があり、その鳥居を潜り抜けると、小さな日本軍の慰霊碑があります。



戦争末期、ここで命を落とした日本兵の遺骨が納められています。この鳥居や慰霊碑も土居さんが中心になり、建設を行いました。土居さんはここで命を落とした日本兵の慰霊をしながらも、一方的な自分たちの思いだけではだめだと考えます。自分たち以上に苦しんだ現地の方たちと一緒に、現地の方たちの生活を改善するための活動を通じて友情を育むことができれば、自分たちの思いも慰められ、共に前を向いて生きていくことができると考えます。その友情の象徴とも言えるものがマングローブの植林だったのです。「これまで植えた 180 万本近いマングローブはフィリピンと日本の友情の証」と後藤先生は語ります。現地にスタッフが駐在するようになると、現地の課題がいろいろと見えてきたとのこと。森林伐採によって荒れてしまった山林にコーヒーやカカオの木を植林したり、そのために水道を引いたり、現地の人たちと農業にも取り組み、生活の改善・向上に勤めています。中には化学肥料を使わず、有機農業に取り組む人たちも生まれてきました。一方的な支援ではなく、「現地の人たちと一緒に取り組む」「交流して友情を育む」ことを大切にしています。



ーマングローブフェスティバルに集まった地区の人々ー

★今月の言葉ーシラインスティテュート校からメールが届きました

Greetings of Peace!

We would like to extend our appreciation for the warm welcome and accommodation we have received during our 10-days visit to Nihon Fukushi University Affiliated High School.

We are humbled by the hospitality and generosity we have received from all of you.

The success of our joint effort is something to reckon with. The spirit of camaraderie and friendship which we have experienced made us to adhere more on the agreement we have as Sister Schools.

Rest assured that whatever cultural and social learning we gained during our visit will be in our memories forever. We are looking forward to more collaboration and cooperation with you. Very truly yours,



Mrs. Lilian S. Reventar (School President)
Dr. Florcelita Zamora (School Director)
Silay Institute Community

SIの皆さん、本当にありがとう。充実した3週間の Exchange program でした。